

第1回審議会でご意見いただいた「よいまち」についてです

資料 5

皆さんが考える よいまちとは？

住民が子どもの未来を見守るとともに、自分の子どもだけではなく周りの子どもも育む、すなわち「**育みあえるまち**」。

日々、**生きる力を与えてくれるまち**。そのためには、**仲間意識を醸成**することが重要であると考えます。

人の顔が見えて**地域の人と普段話ができ**、また、**家族とゆっくりすごすこと**のできるまち。

子どもの将来が安定している（お金の不安がない）ことに加え、**共助のコミュニティ**が機能しているまち。

いい人が育つまち。平均寿命が伸び、豊かな老後が長くなっているなかで、そういった人たちの**生きる意義を引き出せるまち**が良いまちであると考えます。

寛容なまち。寛容さが様々なことを生み出すと考えている。数字だけを見るのではなく**市民一人一人に目を向けること**が重要であると考えます。

コミュニティが発達しているまちであると考えます。隣人の幸せを自分の幸せと同じように感じられるようなまちづくりが望ましい。

人と人が自然にながっているまち。

一人一人の役割があるまち。役割があるという意識が仲間意識、生産性、誇りを生むと考える。

商工業が活発であり市の**税収も支えられているような、経済が循環しているまち**が良いまちの条件であると考えます。